

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

平成29年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	14	316	14	321	0	5	細田 昌之
義方小学校	20	493	20	485	0	△8	野村 洋文
啓成小学校	15	271	15	284	0	13	住田 秀二
就将小学校	15	338	16	350	1	12	上村 一也
車尾小学校	20	512	20	506	0	△6	森 郁夫
福生東小学校	21	524	22	536	1	12	塚田 和彦
福生西小学校	13	237	12	237	△1	0	倉光 俊明
福米東小学校	24	608	22	596	△2	△12	中尾 真
福米西小学校	22	588	21	579	△1	△9	井口 恵美子
加茂小学校	23	566	21	535	△2	△31	村中 祥宏
河崎小学校	10	190	8	187	△2	△3	田中 豊昭
住吉小学校	27	674	26	649	△1	△25	土江 良一
尚徳小学校	12	217	11	208	△1	△9	藤原 敏朗
五千石小学校	8	148	8	143	0	△5	森谷 哲郎
彦名小学校	13	228	13	221	0	△7	神坂 安喜代
崎津小学校	7	147	8	144	1	△3	川上 さつき
大篠津小学校	8	79	8	79	0	0	池山 圭吾
和田小学校	9	92	9	94	0	2	松尾 直樹
弓ヶ浜小学校	19	479	19	473	0	△6	雑賀 裕成
成実小学校	8	164	8	160	0	△4	土江 紀行
箕蚊屋小学校	13	316	14	301	1	△15	神庭 誠
伯仙小学校	18	401	16	399	△2	△2	松嶋 和広
淀江小学校	21	511	21	515	0	4	加藤 涉
米子養護(小学部)	2	3	1	3	△1	0	村田 誠
合 計	362	8102	353	8005	△9	△97	

イ 中学校

平成29年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	17	429	16	412	△1	△17	秋田 治
福生中学校	11	292	11	334	0	42	本池 弘昭
福生中学校いづみ分校	1	5	2	4	1	△1	本池 弘昭
福米中学校	21	576	23	583	2	7	藤原 建
湊山中学校	12	298	13	294	1	△4	青木 勉
後藤ヶ丘中学校	22	598	21	583	△1	△15	山本 正史
美保中学校	12	242	10	208	△2	△34	小林 千春
弓ヶ浜中学校	14	363	15	357	1	△6	黒安 達彦
尚徳中学校	11	305	12	286	1	△19	長尾 修
加茂中学校	14	377	15	392	1	15	勝本 秀人
淀江中学校	11	240	11	250	0	10	黒見 博
米子養護(中学部)	3	9	3	7	0	△2	村田 誠
合 計	149	3734	152	3710	3	△24	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	18	503	19	475	1	△28	足立 祥一

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 18校

臨時訪問校 35校

イ 知能検査、性格検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に性格検査実施

ウ 各種体育大会への助成

(ア) 小体連主催の連合体育大会を開催（6月）

全市5・6年生参加（どらドラパーク米子陸上競技場）

(イ) 小体連主催の陸上大会（鳥取市）に選手派遣

(ウ) 中学校対外競技、並びに文化活動における全国・中国大会等出場に対する助成

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中・特別支援学校管理職研修会（8月）

イ 小・中・特別支援学校教頭研修（4、6、7、11月）

ウ 小・中・特別支援学校教務主任研修会（小：7月、11月 中・特別支援学校：7月、12月）

エ 特別支援教育研修会（5月）

オ いじめ未然防止に関する研修会（3月）

カ 情報モラルに関する研修会（12月）

キ 小・中・特別支援学校人権教育研修講座（6、7、8、9、10、11月）

(4) 障がい児の就学指導

ア 障がい児の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、11月、12月、2月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

イ 校外職業指導

中学校特別支援学級第3学年を対象に、職業実習協力事業所で2週間にわたり職業実習を実施した。

ウ 小学校特別支援学級体育大会（小学校5月）

(5) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の自立支援教室において、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。

(6) 学校評議員制設置事業

地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等から学校評議員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) にこにこサポート支援事業

小学校21校に学校支援員を配置し、個別の支援が必要な児童に対して学習上の困難の改善や克服に適切な指導を行った。

(8) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー3名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(9) 発達障がいの可能性のある児童生徒に対する支援事業支援アドバイザーの配置

発達障がい支援アドバイザーを配置し、各学校の教職員と日常的に連携、協力をしながら、読み書きが困難な児童に対して、専門的な観点から指導、助言を行った。

(10) 総合教育支援センター事業

明道公民館3階に通級指導教室とまなびの支援室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行った。

(11) 心の教室相談員設置事業

中学校の生徒が抱えている悩みやストレス等を軽減するために、気軽に話することができる相談員を7校（組合立含む）に配置した。

(12) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1・2年生は1学級30人、3年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（10校12人）に要する人件費の一部として2,400万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(13) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（11校18人）に要する人件費の一部として3,600万円（箕蚊屋中学校含む）を鳥取県に寄付した。（加配教員1人当たり200万円）

(14) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校・特別支援学校の巡回英語指導を実施した。

(15) 要保護・準要保護児童生徒扶助費支給状況

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、学用品費、修学旅行費の一部、医療費及び給食費の一部を支給し、要保護児童生徒の保護者には、修学旅行費及び医療費を支給した。

区分	対象延べ人員		支給金額（単位：円）
	要保護	準要保護	
小学校	46	1,606	88,854,535
中学校	44	850	67,774,979
合計	90	2,456	156,629,514

(16) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	6	6	0	6
中学校	4	4	0	4
特別支援学校	0	0	0	0
合 計	10	10	0	10

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分	対象者数	受検者数	要精検者数	
小学校	第1学年	1,321	1,319	28
	第4学年	1,404	1,403	29
中学校	1,400	1,395	29	
特別支援学校	2	2	0	
合 計	4,127	4,119	86	

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	8,004	7,999	56	3	70
中学校	4,176	4,119	94	2	95
特別支援学校	10	9	0	0	0
合 計	12,190	12,127	150	5	165

(17) 教職員定期健康診断

ア 結核健康診断

全教職員を対象として胸部エックス線撮影を実施した。()内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数	被発見者数
小学校	603	563 (205)	0
中学校	364	343 (114)	0
特別支援学校	15	9 (6)	0
合 計	982	915 (325)	0

イ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線100ミリ間接撮影を実施した。

区 分	対象者数	受検者数
小学校	359	174
中学校	196	98
特別支援学校	13	6
合 計	568	278

ウ 総合検診

全教職員を対象として実施した。()内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数
小学校	577	562 (199)
中学校	369	339 (111)
特別支援学校	15	9 (6)
合 計	961	910 (316)

(18) 学校災害共済加入状況

ア 日本スポーツ振興センター災害共済

区 分	対象者数	加入者数	発生件数	受給件数
小学校	8,002	8,001	529	791
中学校	3,703	3,702	505	820
特別支援学校	10	10	3	6
合 計	11,715	11,713	1,037	1,617

(19) 通学費助成事業

淀江小学校に通う佐陀地区在住の小学生（1年～3年生）及び淀江中学校に通う本宮地区在住の中学生の保護者に対して通学用バス定期代の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。

区 分	対象児童（生徒）数	支給金額（単位：円）
小学校	106	1,188,095
中学校	1	26,673
合 計	107	1,214,768